

津軽自動車道（柏^{かしわ}～浮田^{うきた}）の計画検討に関する
地域の意見聴取（第1回）を実施します。
～みなさまのご意見をお聞かせください～

津軽自動車道は、東北縦貫自動車道の浪岡ICから五所川原市を通過し、日本海沿岸地域までを結ぶ計画延長約38kmの高規格幹線道路です。

今般、未事業化区間である「柏～浮田」間の道路整備の計画検討にあたり、地域のみなさまや道路を利用される方が日ごろ感じている道路交通や地域の課題等についてご意見をお伺いする調査を行いますので、ご協力をお願いします。

【地域の意見聴取概要】

(1) アンケート調査

1. 調査票等: 別添のとおり
2. 実施期間: 平成26年11月10日(月)まで
3. 回答方法: 回答方法は2通りあります(詳細は別紙のとおり)

① 返信用はがきによる回答

- ・五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町にお住まいの方へは、アンケート調査票・返信用はがきを各世帯に郵送にて配布いたします。
- ・その他、別紙の県庁や西北地域の各市町役場、道の駅などにアンケート調査票・返信用はがきと回収ボックスを設置しております。

② インターネットによる回答

- ・青森河川国道事務所のホームページにアクセスして回答できます。

URL: http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/tugaru/kasiwa_ukita/index.html

(2) ヒアリング調査

関係市町や関係団体、地元企業、物流・観光事業関係者等へインタビュー形式のヒアリングを実施します。

《 記者発表先 : 青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社 》

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所

青森市中央三丁目20-38 電話017-734-4521(代表)

副所長(道路担当) おおもり 大森 ゆういち 祐一 (内線205)

調査第二課長 ふなみず 船水 よしひと 義一 (内線451)

●アンケート調査票・返信用はがきの配布

①五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町にお住まいの方

配布方法：郵送にて各世帯に配布いたします。

※配布予定月日：10月17日(金)

②①以外の方

下図の県庁や西北地域の各市町役場、道の駅などにアンケート調査票・返信用はがきと回収ボックスを設置しております。

また、インターネットによる回答も可能です。

●アンケートの回答方法

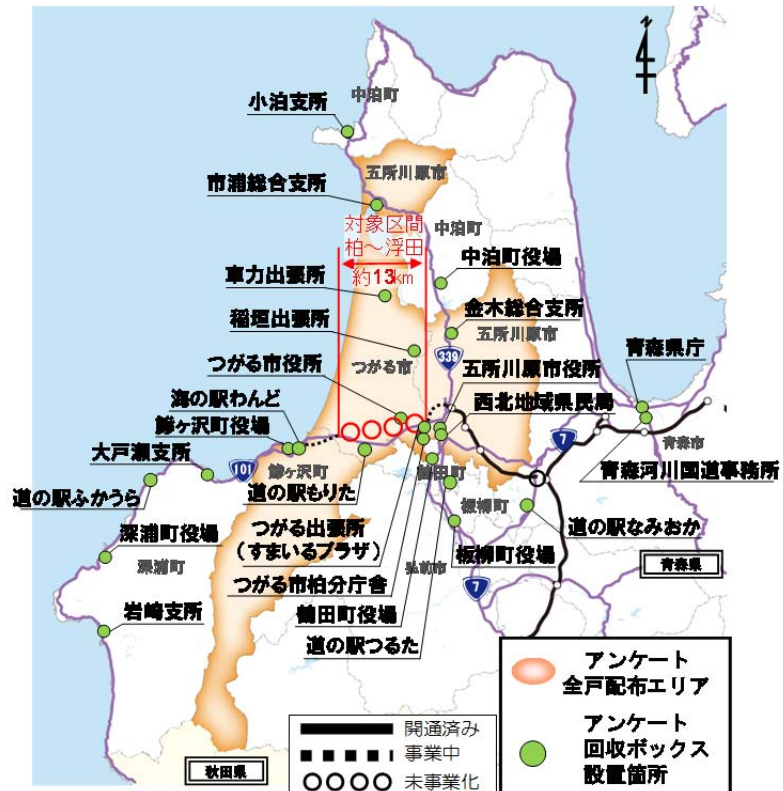
①返信用はがきによる回答

返信用はがきに回答をご記入いただき、お近くの郵便ポスト、または下図の県庁や西北地域の各市町役場、道の駅などに設置してある回収ボックスへ投函してください。

【回収ボックス設置箇所一覧】

青森県内	
国土交通省	青森河川国道事務所
県	青森県庁、青森県西北地域県民局
市町村	<ul style="list-style-type: none"> 五所川原市役所、市浦総合支所、金木総合支所 つがる市役所、つがる市柏分庁舎、つがる出張所(すまいるプラザ)、車力出張所、稲垣出張所 鱒ヶ沢町役場 深浦町役場、岩崎支所、大戸瀬支所 中泊町役場、小泊支所 板柳町役場 鶴田町役場
道の駅	もりた、つるた、なみおか、ふかうら
その他	海の駅わんど

【回収ボックス設置箇所位置図】



②インターネットによる回答

検索サイトやスマートフォンから

青森河川国道事務所のホームページから

「津軽自動車道 柏～浮田」で検索し、アクセスしてください。スマートフォンをお持ちの方は、右記のQRコードからもアクセスできます。

青森河川国道事務所ホームページにある下記バナーより、アクセスしてください。



津軽自動車道(柏～浮田)ご意見募集
(11月10日まで)

アンケートページURL: http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/tugaru/kasiwa_ukita/index.html

②ページの内容をご確認頂き、アンケートにお答えください。

世帯配布のアンケートは、各世帯1部の送付としております。さらにご協力頂ける場合は、お手数ですがアンケート票をお近くの市町村役場などにも設置しておりますので、そちらをご利用頂くか、インターネットからの回答も可能となっております。

●津軽自動車道「柏～浮田」(対象区間)の現在の国道101号についてお伺いします。以下の設問にお答えください。

■問1 国道101号をどのくらいの頻度で利用しますか？※1つ選ぶ

1. 毎日	2. 週に数回程度
3. 月に数回程度	4. ほとんど利用しない
5. 利用したことがない	

■問2 国道101号の主な利用目的は何ですか？※複数回答可

1. 通勤・通学	2. 通院
3. 家事・買物	4. 業務(営業・運送等)
5. 観光・レジャー	
6. その他	

■問3-1 国道101号の柏から浮田間(対象区間)において、どのような交通問題や課題を感じていますか？※複数回答可

1. 信号交差点や沿道からの出入り箇所が多い
2. 目的地までの時間がかかる(冬期には速度が低下)
3. 交通事故のリスクが高い
4. 通行止め時に長時間の足止めなどとなる
5. 道路の幅が狭く走りにくい
6. 農耕車や歩行者、軽車両(自転車等)との混在が危険
7. 積雪や吹雪などで冬期の走行性が悪い
8. その他 ※上記1～7の問題・課題に該当しない場合も含め、回答欄の[]内にご記入下さい

■問3-2 「問3-1」でお答え頂いた中で、場所や時期なども含め具体的な実体験を教えてください。

※問3-1の番号と併せて、お書きください。

■問4 当該地域(対象区間)には、どのような機能を持つ道路が求められますか？※複数回答可

1. 冬期の影響を受けにくいこと
2. 救急病院に早く行けること
3. 自然災害や交通事故で通行止めになりにくいこと
4. 通行止めになった時でも代替路を確保できること
5. 最短時間で結ぶ物流経路を確保できること
6. 観光交流を促進すること
7. 交通事故が少なく安全に走行できること
8. その他 ※上記1～7の機能に該当しない場合も含め、回答欄の[]内にご記入下さい

■問5 これまでの質問以外に、意見がありましたらお聞かせ下さい。

※回答欄に、対象区間以外の津軽自動車道に関するご意見も含め、ご自由にお書きください。

◆返信方法 ※下記のいずれかで返信してください。

- ①お近くの郵便ポストに投函してください。
- ②国道事務所、青森県庁、西北地域県民局、西北地域の各市町村役場並支所、道の駅(もりた・つるた・なみおか・ふかうら)、海の駅(わんど)等の回収ボックスに投函してください。

ご協力ありがとうございました。

＜アンケート回答例＞
【表】

郵便はがき
料金受取人私郵便 0308790 228
青森中央局承認 231
青森県青森市中央三丁目20番38号
国土交通省 東北地方整備局
青森河川国道事務所 調査第二課行
差出有効期間 平成26年12月31日まで 切手不要

〒0308790
ご協力お願いいたします。

あなたについてお聞かせください。

年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input checked="" type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
職業	<input checked="" type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 自営業・農業 <input type="checkbox"/> 漁業 <input type="checkbox"/> 学生・主婦 <input type="checkbox"/> その他()		
住所	[青森] 都・道・府・県 [つがる] 市・町・村 地区名 [森田]		
運転免許	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		

※個人情報と同意なく第三者に開示・提供することはありません。
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

- ・□にはレ点をご記入下さい。
- ・当てはまる項目に○で囲って下さい。
- ・その他を選択した場合は下の[]内に詳細をご記入下さい。

【裏】
・□にはレ点をご記入下さい。
・その他を選択した場合は下の[]内に詳細をご記入下さい。
・自由回答欄には、ご自由にご意見をご記入下さい。

アンケート回答欄

問1 ※1つ選ぶ	<input checked="" type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7
問2 ※複数回答可	<input checked="" type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 []
問3-1 ※複数回答可	<input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8
問3-2 ※自由記述	問3-1で選択した番号 場所、時期、具体的な実体験 [2] [3] [5]
問4 ※複数回答可	<input checked="" type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 []
問5 ※自由記述	[]

- ・□にはレ点をご記入下さい。
- ・その他を選択した場合は下の[]内に詳細をご記入下さい。
- ・問3-1で選択した項目について具体的な体験をご記入下さい。
- ・ご自由にご意見をお書き下さい。

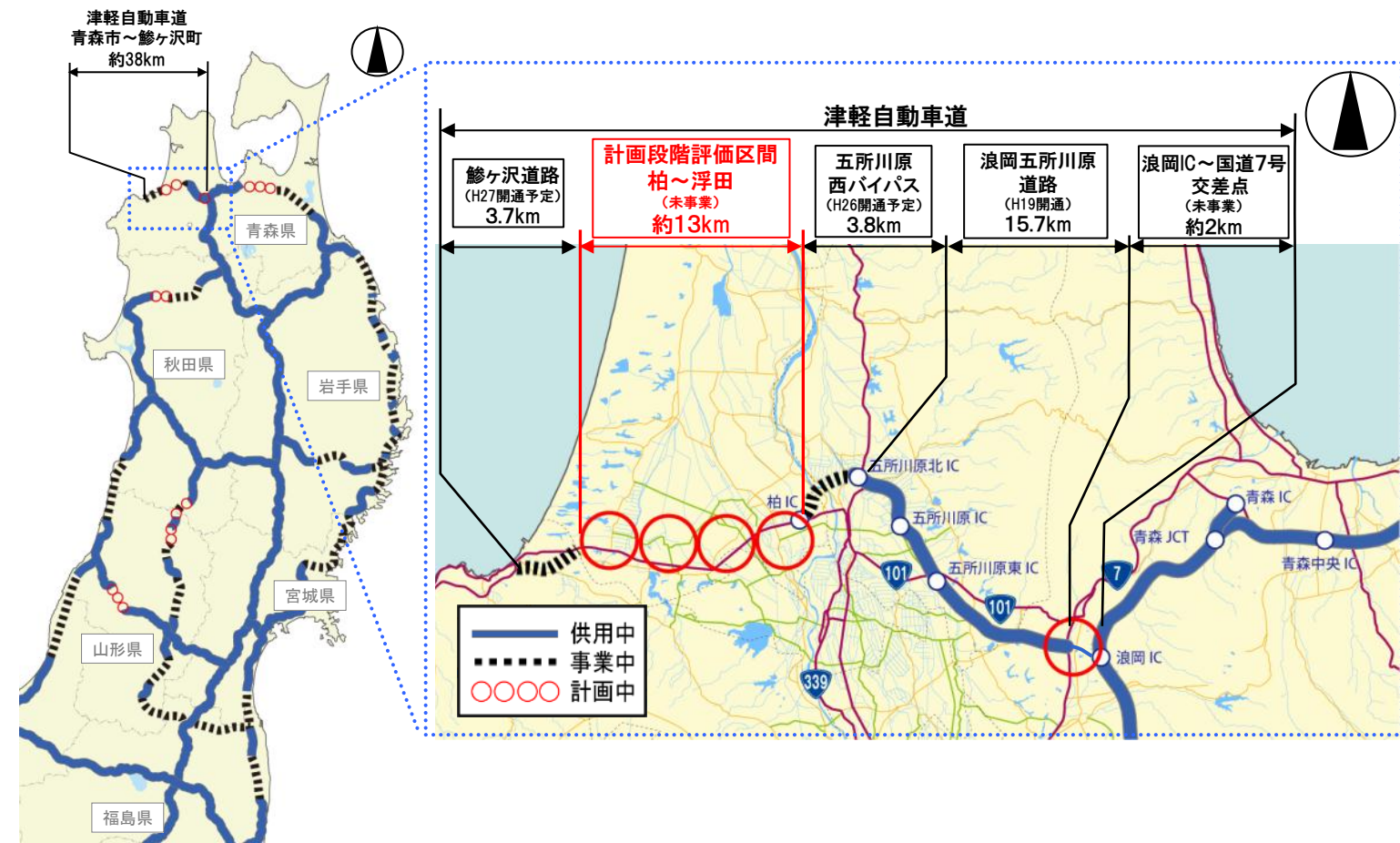
◆締切 平成26年11月10日までお願いします。

津軽自動車道(柏～浮田)の
計画検討に関するアンケート(第1回)

津軽自動車道は、東北縦貫自動車道の浪岡ICから五所川原市を通過し、日本海沿岸地域までを結ぶ計画延長約38kmの高規格幹線道路です。

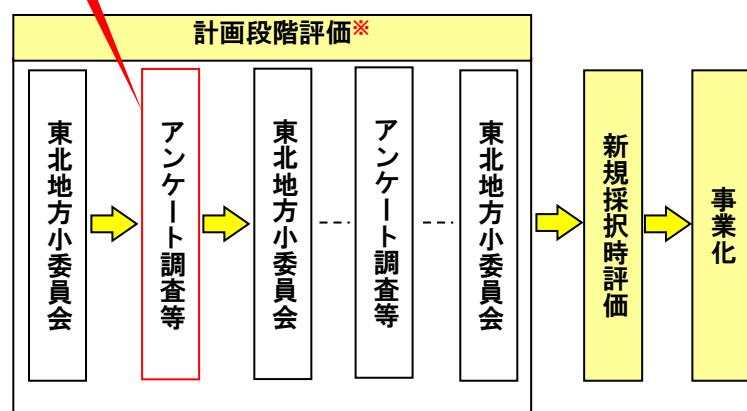
本調査は、未事業化区間である柏～浮田間の道路整備の計画検討にあたり、皆様のご意見をお聞きするためにアンケート調査を行うものです。

今回のアンケート調査では、地域の皆様が日頃感じている道路交通や地域の課題等についてご意見をお聞きたく、ご協力をお願いします。



※本調査で頂いた皆様からのご意見は、計画段階評価※における地域からの意見として「社会資本整備審議会道路分科会東北地方小委員会」に報告いたします。

今回のアンケートは
ここです。



●計画段階評価の詳しい情報や東北地方小委員会の資料等は国土交通省東北地方整備局ホームページでご覧いただけます。
URL <http://www.thr.mlit.go.jp/road/ir/shouinkai/index.html>

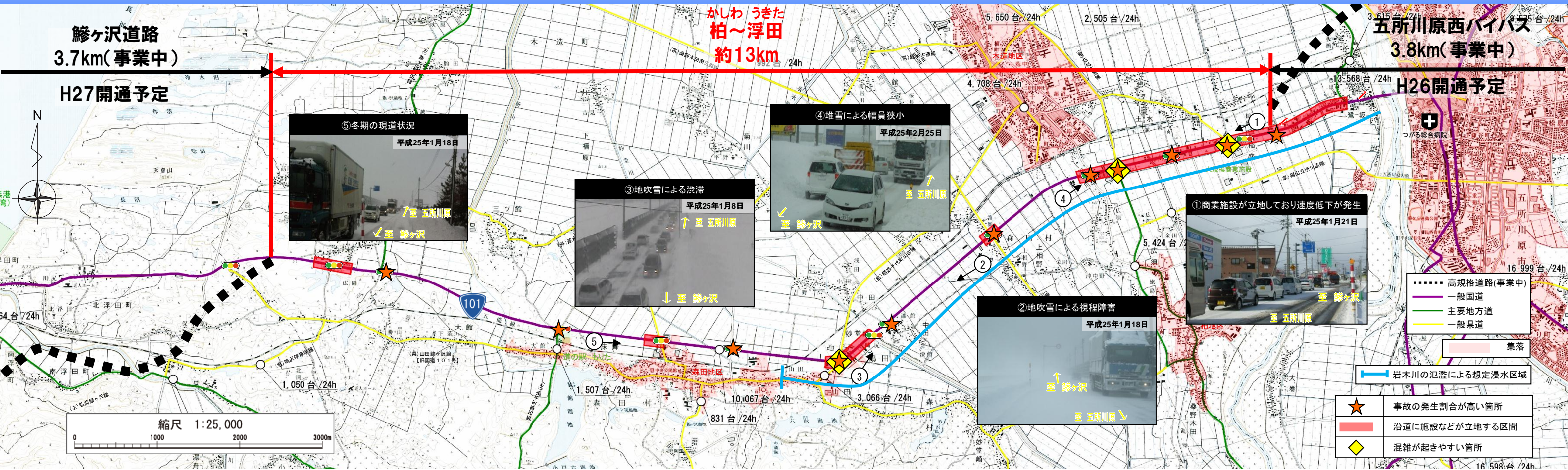
●インターネットによる回答も可能です。
URL http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/tugaru/kasiwa_ukita/index.html
東北地方整備局、青森河川国道事務所、青森県のほか、西北地域の各市町村ホームページのバナーからも御利用いただけます。

津軽自動車道(柏～浮田)ご意見募集
(11月10日まで)

●アンケートに関するお問い合わせ
青森河川国道事務所 調査第二課
TEL:017-734-4570 FAX:017-722-2384

国土交通省 東北地方整備局
青森河川国道事務所
青森県 五所川原市 つがる市 鱒ヶ沢町

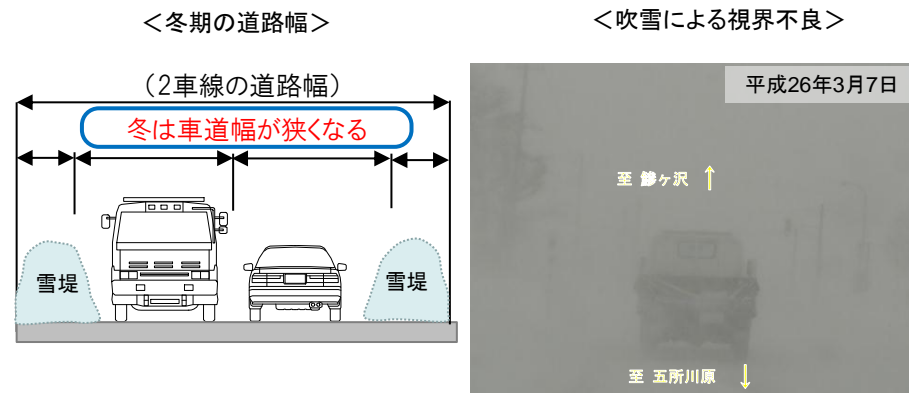
対象区間の現状



一般国道101号(対象区間)で考えられる主な課題

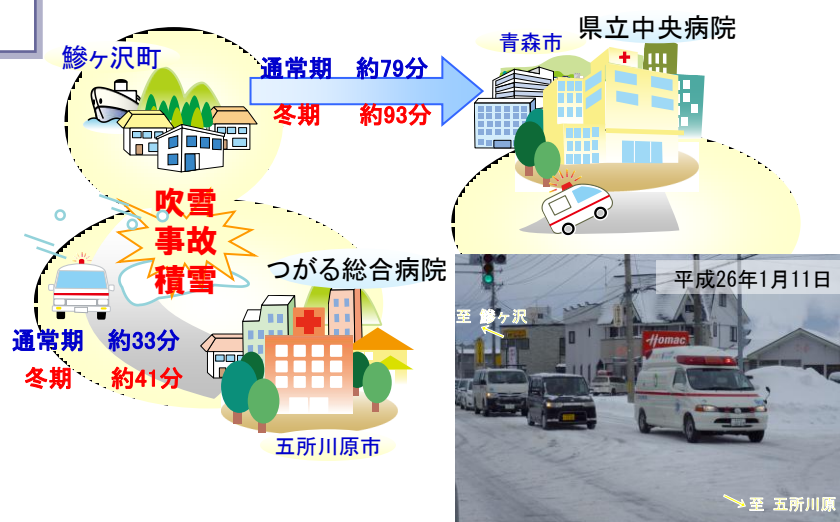
1) 冬期の道路状況

- 冬期は積雪により道路の幅が狭くなっているほか、地吹雪によって視界が悪くなるなど、安全な運転が困難な状況になっています。



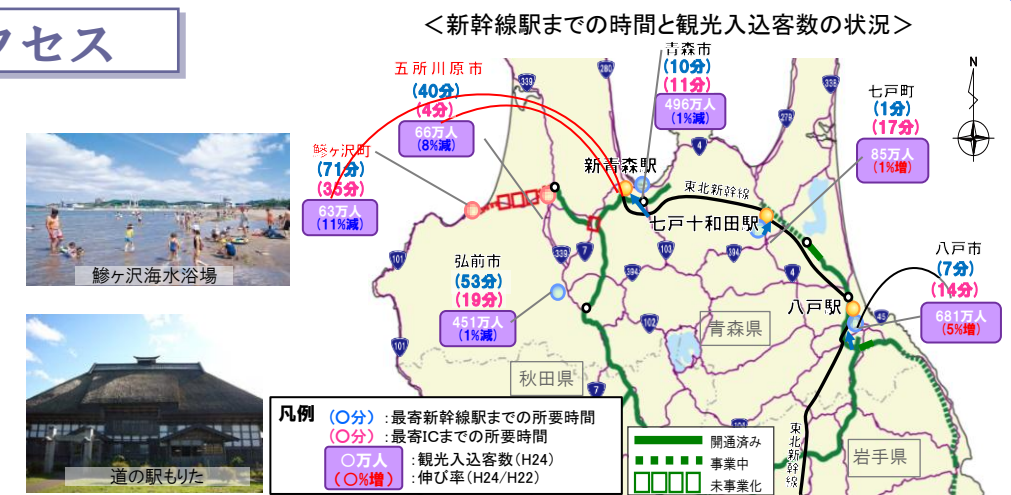
2) 医療施設へのアクセス

- 重篤な症状で救急搬送が必要な医療施設(青森市など)まで、1時間以上かかっており、冬期はさらに時間がかかっています。
- 地域の中核病院「つがる総合病院(H26.4移転開業)」へ通院や救急搬送の増加が見込まれますが、30分以上かかっています。



3) 観光拠点へのアクセス

- 高速道路のインターチェンジや新幹線駅までの時間が、青森県内の観光拠点よりも長くかかっています。



4) 災害への備え

- 内陸と日本海沿岸部を繋ぐ唯一の緊急輸送ルートで、昭和58年の日本海中部地震による津波被害時にも、大きな役割を果たしました。
- しかし、冬期交通の課題や事故による通行止めが発生しているほか、岩木川氾濫による想定浸水区域があります。

